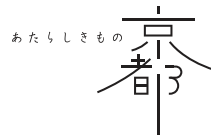




あたりしきもの
京
都

主 催：京都商工会議所
ファッション京都推進協議会
共 催：京都府
事務局：京都商工会議所 中小企業経営支援センター
〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上る
Tel 075-212-6470
Fax 075-212-8871
Mail bmpj@kyo.or.jp

破壊的創造
伝統の解放



「あたらしきもの京都」は、京都の製造事業者が日本全国に向けて新たに発信するものづくりプロジェクトで、今年で3年目を迎えました。長い歴史と進取の精神に富む京都の伝統工芸や地場産業が持つ優れた素材と技術を、現代のデザインによってさらに洗練させました。これらは、日々の生活に潤いと輝きをもたらす暮らしの道具ばかりです。テーブルウェアやインテリア小物、ベビー用品、文具、ファッションアイテムなど、商品は多彩。さらに京都らしい「おあつらえ」にも対応します。どれをとって見ても、そこには見慣れた京都のイメージを超える新しい表情と普遍の価値が宿っています。“伝統の解放”に“破壊的創造”。

そんな挑戦に満ちた「あたらしきもの京都」は、暮らしに喜びと感動をもたらし、日本の生活文化の進化に貢献します。

<http://atarashiki-mono-kyoto.com>

Contents

江村商店	4
井助商店	6
丸進	8
熊谷聡商店	10
大西常商店	12
土田人形	14
洛歩	16
丸和商业	18
太田重染工	20
尚雅堂	22
岡山工芸	24
京都紋美京	26
寺島保太良商店	28
Kyoto émail	30

Adviser team

Sales adviser

田中智子
金谷弘幸

Designer

みやげかずしげ
森田明奈

Communication adviser

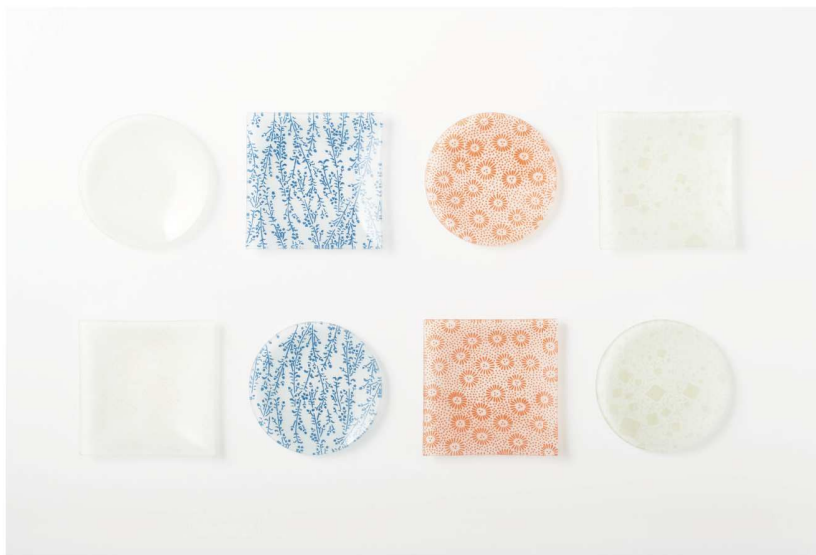
下川一哉
杉江あこ

Coordinator

西堀耕太郎

あたらしきもの京都カタログ
2018年1月31日発行
編集・文 下川一哉
杉江あこ
写真 福尾行洋
発行 京都商工会議所

京小紋 四季のうつわ



素材：ガラス・シルク・人工樹脂
 サイズ：H1.5×φ10cm、H1.5×W10×D10cm
 色柄：春暁、忘草、初菊、霧水

※写真の色柄はサンプルです



“伝統≡創造≡破壊”

絵皿と言っても、これは焼物ではない。ガラスと京小紋を張り合わせたまったく新しいタイプの「京小紋 四季のうつわ」である。建築資材に用いられる合わせガラスの技術を応用し、京小紋をガラスとEVA樹脂で挟み込むことで実現させた。裏面の樹脂には滑り止めとガラス飛散防止効果があり、一般的なガラス皿よりも機能性が高い。

柄は春夏秋冬をテーマとした4つ。いずれも伊勢型紙を使用した型友禅の技法で染められており、春には桜色の丸紋、夏には藍色の草、秋には茜色の菊、冬には金箔色の氷を表現した。

この器を開発したのは、1918年より呉服問屋を営む江村商店だ。「反物を着物以外のアイテムに転用したい」と考えた専務取締役の江村和博により、数年前から器の開発を進めている。これまでに同社の看板商品である白生地や西陣織を張り合わせた華やかな器を開発した実績がある。「今回はより日常使いに向けた器をつくりたい」という思いから京小紋が採用された。

おあつらえ



ガラス表面にエッチングで名入れをします



専務取締役
江村和博



株式会社江村商店
 〒600-8446
 京都市下京区高辻通新町
 西入る堀之内町 282 番地
 Tel 075-341-5291
 Fax 075-351-3737
 Mail kimono@emura-shouten.com
 http://www.emura-shouten.com

こはこ



素材：木粉入り樹脂成型品、漆塗り、ウレタン塗り
 サイズ：H5×W9×D9cm
 色柄：結び、鯛、千鳥、梅、富士山、ひょうたん

新しい“用途を発見”して
刷新する

「こはこ」はありそうでなかった、愛らしい正方形の漆器の箱である。例えば化粧品や小物入れ、ジュエリーやキャンディーボックスとして使えるが、ほかに何を入れようかと迷うのも楽しい。蓋の天面には結び、鯛、千鳥、梅、富士山、ひょうたんといった6種類の縁起物の柄が描かれている。背景に塗られた漆はカラフルで、生活空間に彩りを添える。柄と内側の色が呼応しており、こちらはさらにカラフルなウレタン塗料が塗られている。したがって中に多少硬い物を入れたとしても、傷つきにくい仕上げとなっている。

「これまで漆器の箱と言えば、昔ながらの文箱くらいしかなかった。暮らしを楽しむ若い女性を中心に提案したい」と開発した井助商店の代表取締役社長、沖野俊之は話す。同社は文政年間より漆の精製販売を営み、先々代より漆器の商品開発を行っている。現在、輸出事業にも力を入れる沖野は、「小物入れは海外でも需要が高い」と海外展開も視野に入れている。

おあつらえ



底面もしくは蓋裏に名入れをします



代表取締役社長
沖野俊之



株式会社井助商店
 〒600-8066
 京都市下京区柳馬場通五条上る
 柏屋町 344 番地
 Tel 075-361-5281
 Fax 075-361-5285
 Mail shikki@isuke.co.jp
 http://www.isuke.co.jp

Hang More !



素材：コットン
 サイズ：Sサイズ／L約53cm、Mサイズ／L約75cm
 色柄：オレンジ、ピンク、ネイビー、ベージュ、ピーコックグリーン



暮らしの “風景を変えるもの”

限られた広さの生活空間では家具を置く場所が限られ、物を仕舞う場所も限定される。だったら、宙に浮かせて仕舞えばいい。そんな新しい発想の収納道具が「Hang More！」だ。例えばプランターを吊るして空間全体の緑化を図ってもいいし、籠や皿、ボウルなどを吊るして、中に小物を仕舞ってもいい。トイレに吊るせば、収納場所に困るトイレトーパー入れにもなる。

これは靴紐に使われている紐を応用した商品だ。芯入りのコットン素材なので丈夫なうえ、表面がロー引き加工されているため艶があり、レザーのような質感がある。また、1本1本に通されたシリコンパーツがストッパーの役目を果たすので、物がすると滑り落ちる心配はほとんどない。

開発したのは、紐ヤリボン、レースといった繊維副資材の企画卸販売を行っている丸進だ。「脇役である繊維副資材を主役にしたい」という代表取締役社長の野澤孝康の思いから、現在、積極的に自社商品の開発に挑んでいる。

おあつらえ



定番色5色のほか、別注色26色も揃えています。
 Mサイズは20個より、Sサイズは30個より
 別注色を承ります



代表取締役社長
野澤孝康

株式会社
丸進

株式会社丸進
 〒602-8205
 京都市上京区中立売通
 松屋町東入る
 Tel 075-432-2131
 Fax 075-432-2138
 Mail info@marushin-kyoto.co.jp
 http://www.marushin-kyoto.co.jp

涼の音



素材：磁器、陶器、ステンレス、メイプル、紙
 サイズ：H27×W9.3×D7.9cm
 色柄：外身／花結晶、黒錆、フレーム／真鍮色メッキ、黒塗装、
 短冊／メイプル+ナチュラルウレタン塗り加工、メイプル+黒ウレタン消し塗り加工



“創造への挑戦”

風鈴は窓辺に吊るすものという概念が、最近は薄れている。真夏には窓を締め切って冷房を効かすことや、ベランダに吊るした風鈴の音が近所トラブルの原因になることなどから、室内で風鈴を楽しむ風習が広まっているのだ。扇風機やエアコンからの風、人の移動に伴う空気の動きが風鈴をチリンと鳴らす。これはそうしたニーズを捉えた卓上風鈴「涼の音」である。開発したのは、1935年の創業以来、京焼・清水焼の産地問屋を営む熊谷聡商店だ。

花卉のような光沢を持つ磁器「花結晶」を採用した風鈴には真鍮色メッキのフレームとメイプル材の短冊、黒錆の陶器を採用した風鈴には黒塗装のフレームと黒ウレタン消し塗りの短冊が組み合わされている。いずれも従来の風鈴とは異なるモダンなデザインで、現代の暮らしにずっと溶け込む佇まいをしている。「焼物を生かしながらも異素材を組み合わせることで、新たな雑貨の開発ができた」と代表取締役社長の熊谷隆慶は話す。

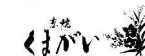
おあつらえ



短冊にシルクスクリーンで名前もしくはメッセージを入れます



代表取締役社長
熊谷隆慶



株式会社熊谷聡商店
 〒607-8322
 京都市山科区川田清水焼団地町 9-5
 Tel 075-501-8083
 Fax 075-501-5876
 Mail info@kyoto-kumagai.co.jp
 http://www.kyoto-kumagai.co.jp

かざ



素材：竹、半磁器、エタノール、水、香料
 サイズ：H23×W6.7×D6.7cm (容量 50ml)
 色柄：リードスティック／黒、唐木、白、器／黒檀色、若竹色、薄色

※写真の器はサンプルです



軸を大切に守りながら “離れること”

京言葉で良い香りがすることを「ええかざどすなあ」と言う。かざ＝香りに着目したのは、京扇子の製造卸・小売を営む大西常商店だ。元々、香木の白檀を使った白檀扇が始まりなど、諸説あるが、扇子には香料をまとわせた商品が多い。扇ぐと涼風とともに良い香りがふわりと漂う。そもそも竹は吸水性と保水性に優れることから、薄く加工した扇骨を香液に一瞬浸すだけで、およそ1年は香りが持続する。

この扇骨の特性を生かし、同社の大西里枝はルームディフューザーの開発に取り組んだ。「扇骨の繊細さや美しさを生かしたい」という思いから、香りを拡散するためのリードスティックは扇骨と同じサイズ、形態を採用した。表面には唐草文様を彫り、10本をあえて扇形にまとめている。リードスティック、器、香料はそれぞれ3種類あり、組み合わせ方は自由。香料は「朝の御寺」「昼の京町家」「宵の祇園」と京都の街並みをイメージして調香されている。京都ファンへのギフトにも最適だ。

おあつらえ



リードスティック、器、香料の組み合わせが自由にできます (全27通り)。
 リードスティックの別注文様も承ります



営業企画担当
 大西里枝



大西常商店
 OHNISHIYA COMPANY

大西常商店
 〒600-8086
 京都市下京区松原通
 高倉西入る本燈籠町 23 番地
 Tel 075-351-1156
 Fax 075-341-8220
 Mail otoiwase@ohnishitune.com
 http://www.ohnishitune.com

だるまのもてなし



素材：陶器
 サイズ：素焼タイプ／H8.8～7.2×W7×D6.7cm、本焼タイプ／H7.1×W6.9×D6.6cm
 色柄：素焼タイプ／サッカー選手、野球選手、力士、歌舞伎役者、侍、忍者、サンタクロース、ハロウィンかぼちゃ、鬼、獅子舞、お福さん、招き猫、金、本焼タイプ／ドット、千鳥、星、無地（金を含む）



いつも“挑戦” いくつも“挑戦”

だるまと言えば、誰もが知る縁起物である。特に勝運祈願として飾られることが多いが、もっとインテリアとして楽しめるだるまづくりに挑んだのが、京都の伝統工芸「京陶人形」の企画製造販売を行っている土田人形だ。京陶人形とは素焼の人形に顔料で彩色して仕上げたものを言う。二～三頭身にデフォルメした形状が愛らしい。

今回、開発しただるまはさらにデフォルメし、彫り込みをほとんど入れない、極力のっぺりとした形状を特徴とした。「これまでに経験のないデザインで、原型を何度もつくり直した」と代表取締役社長の土田博之は振り返る。

一方、彩色にバリエーションをもたせた。形状はだるまだが、そこに描いたのはサッカーや野球選手、力士、歌舞伎役者、侍、忍者、サンタクロースなど多岐にわたる。また、全身にドットや千鳥文様を施して本焼しただるまも開発した。底の内部にはアロマオイルを垂らすための皿を設置し、香りを楽しむ道具としても提案する。

おあつらえ



だるまに名入れをします。サッカーや野球選手のだるまにはユニフォームにチーム名や背番号も入れられます



代表取締役社長
土田博之

土田人形

株式会社土田人形
 〒615-0915
 京都市右京区梅津南町 1-10
 Tel 075-871-6834
 Fax 075-871-6845
 Mail tutida@maia.eonet.ne.jp
 http://www.tutida-ningyo.com

コンフィダンテ



素材：ドッグオーガニックシャンプー／水、ツバキ油、ヒマワリ種子油、水酸化K、オリーブ果実油、ホホバ種子油、スクワラン、トコフェロール、ドッグオーガニックヘアオイル／ホホバ種子油、スクワラン、ツバキ油、トコフェロール
 容量：ドッグオーガニックシャンプー／400ml、ドッグオーガニックヘアオイル／8g

※写真の右2点(人用)はサンプルです



新しい価値観を生む “正しいもの”

日本で初めて石ケンを工業生産したのは京都舎密局（明治初期の化学技術研究機関）だと言われる。「コンフィダンテ」はそんな石ケン発祥の地である京都で生まれた、人も犬も安心して使うことができるオーガニック石ケン・化粧品のブランドだ。最大の特徴は、カリ石ケンであること。カリ石ケンは水酸化カリウムを原料とする軟石ケンで、刺激が少なく、肌に非常に優しい。

開発したのは、2012年に創業したばかりの洛歩だ。代表取締役社長の阿部将は、元々、医療品製造に携わっていた技術者である。「不純物を排除し、石ケン本来の性能を100%引き出す引き算の理論で開発した」と話す。犬用にはシャンプーとヘアオイルを開発、人用にはシャンプーとコンディショナー、ハンドソープ、ヘアオイルを開発予定だ。人と犬とでは肌の状態が違うため成分を変えているが、オーガニックであることは同じ。さらにパッケージも同じにすることで、“家族”が揃いで使えるブランドとして提案する。

おあつらえ



天然の精油を加えれば好きな香りにすることができます
 (犬用の推奨精油：ラベンダー、ヒノキ、ダマスクバラ)



代表取締役社長
阿部将

洛歩

株式会社洛歩
 〒606-0026
 京都市左京区岩倉長谷町 1223 番地
 Tel 075-723-2775
 Mail info@rakuho.jp
<http://www.rakuho.jp>

はるくるみ



素材：オーガニックコットン（ガーゼ）
サイズ：L90×W90cm
色柄：イエロー、グリーン、ブルー



“未来の当たり前”をつくる

新生児から生後3カ月頃までの赤ちゃんは、安心や安全、保温のために、おくるみで全身を包み込むのが良いと言われる。中でもガーゼは通気性が良く、肌への刺激が少なく、汗を吸ってもすぐに乾くという特徴があり、特に夏におすすめのおくるみとされる。

「はるくるみ」は、赤ちゃんのまだ弱い肌に嬉しいオーガニックコットン100%のおくるみである。二重ガーゼを2枚合わせにした90cm角の無地の布で、縁に明るい色のブランケットステッチが入れている。また一角に空けられた菊穴にはタッセルが通されており、おくるみに愛らしさを添える。授乳時には授乳ケープとして使える。

おくるみの開発に挑んだのは、ふるしきの企画卸販売を行っている丸和商業だ。「共通点は四角い布ということだけ。これまでの経験を生かしながらもすべてが挑戦だった」と代表取締役社長の林利治は話す。赤ちゃんが成長した後は、レザーハンドルを取り付けてふるしきバッグに転用する提案も行う。

おあつらえ



刺繍で名入れをします



代表取締役社長
林利治

丸和商業株式会社

丸和商業株式会社
〒604-8811
京都市中京区壬生賀陽御所町 18-3
Tel 075-801-0536
Fax 075-811-7247
Mail info@furoshiki-kyoto.com
http://www.furoshiki-kyoto.com

Sew easy ! for BABY



素材：コットン（ガーゼ）
サイズ：L40×W115cm
色柄：ブルーベース、イエローベース



“喜びの連鎖”を生むもの

1枚のカラフルな大きな布。「Sew easy! for BABY」は、一見、そう見える。しかしクレヨンや水彩絵具で描かれたような楽しい幾何学模様を目で追うと、そこには指示線や文字が…。これはお母さんが幼児のために服を手づくりすることを目的にしたソーイングキットだ。開発したのは、ローラー捺染を専門とする太田重染工である。

同社は版となるローラーに施すエッチングの彫りの深浅によって、1色で濃淡を表現することを得意とする。普段は大手メーカーのバジヤマやふきん生地のプリントを請け負っているが、「自社の技術でオリジナル商品をつくりたい」という専務取締役の太田匡信の熱意で、商品開発に初めて挑んだ。

このソーイングキットでつくれるのはショートパンツとリストラル。ショートパンツは前、後、裾、ベルトにパーツが分かれており、指示通りに切り抜き、ミシンで縫えば完成する。対象は身長80～90cmの1歳前後の幼児だ。手づくりの喜びを与える商品である。

おあつらえ



完成後も、刺繍やアップリケなどを自由に入れてお楽しみください



専務取締役
太田 匡信

OHTAJU

太田重染工株式会社
〒606-8232
京都市左京区田中古川町 24 番地
Tel 075-791-2151
Fax 075-712-3355
Mail s-ootaju@agate.plala.or.jp
http://www13.plala.or.jp/j_ohata

カドトジ帖



素材：和紙（京友禅紙）、洋紙
 サイズ：小／L10.5×W10.5cm、中／L15×W15cm、大／L21×W21cm
 色柄：よろけ、菊、縞、絞り、海松、唐草、唐辛子、花



日本人の “書く・描くを変える”

三角形に綴じた四角形のノート。「カドトジ帖」を一言で言うならこうだ。ノートには稀な正方形の形状と、1つの角を伝統的な和綴りで留めただけのシンプルな作りが目を惹く。その和綴りが三角形をしているのである。綴じ目を右上にして右開きにするか、左上にして左開きにするかは使い手に任されている。正方形ゆえに自由だ。

カドトジ帖を開発したのは、色紙や短冊、和本帖メーカーの尚雅堂だ。2003年頃からオリジナルの和文具製品を開発し始め、和歌や書などの分野に携わる人向けの製品だけではなく、一般の生活者が使いたいと思えるようなレターセットやぼち袋、朱印帖などを企画してきた。

カドトジ帖の表紙には、同社のオリジナル商品に使われてきた伝統文様から8種類の柄を選ぶことで、朱印帖や和本帖のような雰囲気を残した。「従来の技術を生かしながらも、インパクトのある商品になった」と代表取締役社長の松尾安浩は話す。

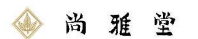
おあつらえ



金の箔押しで名入れをします。
 500冊より表紙やサイズの別注も承ります



代表取締役社長
 松尾安浩



株式会社尚雅堂
 〒616-8117
 京都市右京区太秦門田町4-1
 Tel 075-881-8488
 Fax 075-861-9321
 Mail info@shogado.co.jp
 http://www.shogado.co.jp

ONE TONE



素材：シルク、レーヨン
 サイズ：金封袱紗／L21×W11.5cm、念珠入れ／L17.5×W9.5cm
 色柄：基調色／白、グレー、柄／鹿、こもり、ふくろう、椿、菊、松、水割れ、格子、紗綾形、
 金封袱紗の組紐／黒、紫、青、赤、黄、念珠入れの組紐／黒、紫、青、緑、黄

※写真の色柄はサンプルです



“未来が驚く”手仕事

「ONE TONE」はフォーマルでありながらモダンな印象の金封袱紗と念珠入れだ。これらに馴染みのない若い世代にも受け入れられやすいデザインである。開発した岡山工芸は手描京友禅の製造販売会社で、約20人の職人を抱えるほか、社外の多くの職人とも連携し、問屋や小売店からの受注生産や自社ブランドの企画生産を行っている。

男女兼用の ONE TONE は、白とグレーそれぞれを反転させた2つのモノトーンを基調にした。幾何学模様、花、動物の3つをモチーフに、1モチーフにつき3柄を採用し、全9柄を揃えた。「華やかな色を使わないモノトーンでも、京友禅の魅力を伝えることができた」と社長の岡山摩紀は話す。

使用する際は組紐を巻いて留めるのだが、金封袱紗と念珠入れに各5色の組紐があり、好きな色を選ぶことができる。例えば同じ金封袱紗でも組紐の色を変えるだけで慶弔の使い分けができるほか、家族で共用しながら各自が好きな組紐の色を持つこともできる。

おあつらえ



金封袱紗と念珠入れともに、基調色、柄、組紐の組み合わせが自由にできます（各全90通り）



社長
岡山摩紀



岡山工芸
 〒612-0029
 京都市伏見区深草西浦町 8-2-2
 Tel 075-643-4317
 Fax 075-643-4320
 Mail kimono@okayama-kougei.com
 http://www.okayama-kougei.com

わっふる



素材：うろこぐも/シルク 88%+ポリエステル 12%、ウール 65%+シルク 28%+ポリエステル 7%平織、
ウール 65%+シルク 28%+ポリエステル 7%二重織、
ひつじぐも/シルク 88%+ポリエステル 12%、ウール 65%+シルク 28%+ポリエステル 7%平織
サイズ：シルク 88%素材/L199×W50cm、ウール 65%素材/L176×W50cm
色柄：ブルー、グリーン、オレンジ、グレー、イエロー



自らに課す“風雲見たれ”

「挑戦するなら、一步先に進んだことをやりたい」。こう語る、京都絞美京三代目の松岡輝一が開発した独自技術「デジタル3D絞」が、京鹿の子絞の世界に新しい風を吹かせた。

デジタル3D絞は、板締め絞染に用いる型をコンピューターの3Dソフトでデザインし、3Dプリンターで出力した技術である。デジタルならではの強みを生かし、人の手ではつくれない複雑な形状の型を生み出すことで、柔らかな立体感を持つ新しい風合いの京鹿の子絞を完成させた。

この新しい風合いの京鹿の子絞を松岡は「わっふる」と命名し、現在、様々な文様を展開している。今回、開発したのは有機的な楕円形を用いた「うろこぐも」と「ひつじぐも」の文様で、これらをストールに仕上げた。うろこぐものストールには両端に雲が連なり、ひつじぐものストールには全体に雲が斜めに連なっている。秋空の下のみならず、ファッションアイテムとして年中、身に付けたいストールだ。

おあつらえ



2～3種類の生地からお選びいただけます。
別注色も承ります



伝統工芸士
松岡輝一

KYOTO BIKYO
KIIZOMÉ

株式会社京都絞美京
〒604-8863
京都市中京区壬生中川町 2-3
Tel 075-812-7777
Fax 075-841-8322
Mail info@kyoto-shibori.com
http://www.kyoto-shibori.com

絲 tabane



素材：純金糸、真鍮
 サイズ：チョーカー／H15×W16×D0.5cm、ピアス、イヤリング／H5×W2.6×D0.5 cm、ブレスレットL／H8.7×W8.4×D0.5cm
 色柄：留め具／金メッキ、銀メッキ、黒漆、白漆、桜花漆（青）、弁柄漆（赤）



100年前の技術でも “心が動くもの”

「絲 tabane」は、最高級の純金糸を贅沢に使ったジュエリーブランドである。純金糸は細く裁断した純金箔を芯糸に縫ったものだ。開発したのは、明治30年より金銀糸製造を行っている寺島保太良商店である。元々、金銀糸は皇族や貴族の衣装に用いられ、明治時代より庶民にも広まり、現在は西陣織や力士の化粧まわし、祭礼の刺繍幕などに使われている。それでも市場が限られていることから、代表取締役の寺島大悟は「多くの人々に金銀糸の美しさを伝えたい」との思いで、一般市場に向けた商品開発に取り組んでいる。

同社はジュエリーデザイナーと共に、昨年、純金糸のネックレスとブレスレットを開発した。今回も同様のコンセプトで、より普段使いに向けたチョーカー、ピアスとイヤリング、ブレスレットのLサイズを開発し、ターゲットの幅を広げた。いずれも留め具には金銀メッキのほか、金銀糸の製作に欠かせない影の主役である漆塗りを採用し、色にバリエーションを加えた。

おあつらえ



留め具の漆塗りに別注色を承ります



代表取締役
寺島大悟



株式会社寺島保太良商店
 〒603-8246
 京都市北区紫野西泉堂町 65-2
 Tel 075-495-7111
 Fax 075-495-7117
 Mail info@terayasu.com
 http://www.terayasu.com

narsa*anneau



素材：プラチナもしくは18金、ダイヤモンド（希望者のみ）
 サイズ：号数で指定
 色柄：rincaux（唐草）、arc-en-ciel（虹）、Venus（女神）



“無限の可能性”を開くもの

金属に釉薬を盛り付けては何度も焼成し、ガラス質の彩色を施す七宝焼には、アクセサリーから大きな壺まで様々な作品がある。今回、七宝焼の新たな可能性を求めてマリッジリングに挑戦したのが、アーティストの齋藤直子が営むKyoto émail（京都エマイユ）だ。「七宝焼は大事に扱えば永遠に輝くため、マリッジリングに向いている。割れたらメンテナンスも可能」と話す。

これまでに齋藤はいろいろな釉薬と金・銀・銅線を使って細工を施す有線七宝の作品をつくってきたが、マリッジリング「narsa*anneau」ではシンプルなデザインに徹した。プラチナと18金をベースに、3つのデザインを考案。中でも最もシンプルなのが「虹」で、リングの周縁3分の2に1色のラインを引いただけのデザインである。ほかに日本の伝統文様でもある「唐草」、愛と美を司る「女神」を表現した。約15色の中から色を選べるのも特徴だ。七宝焼の魅力である色で、マリッジリングに求められる個性を提供する。

おあつらえ



約15色の中から色を選ぶことができます。
 希望によりダイヤモンド1粒を付けられます。
 リングの裏に名前やメッセージを刻印できます



アーティスト
 齋藤直子



Kyoto émail
 〒611-0002
 京都府宇治市木幡南山 17-21
 Tel 080-5343-7055
 Fax 050-3098-3517
 Mail narsarainbow@icloud.com
 http://narsaenamel.stores.jp